

日本原子力学会核燃料部会
平成 21 年度第四回運営委員会議事録(案)

日時 :平成 21 年 12 月 9 日(水) 13:00~15:25

場所 :原子力学会事務局 会議室

出席者 :(順不同 敬称略)

岩田部会長、安部田副部会長、真寄委員、平井委員、原田委員、大平委員、草ヶ谷委員、緒方委員、木下委員、高野委員、小林委員、北嶋委員、永瀬氏(更田委員代理)、磯部(14 名)

議事

1. 議事録案確認

磯部委員から、No.4-1-1 前回第三回運営委員会議事録案および No.4-1-2 第 33 回総会議事録案が提示され、了承された。もし気づき事項があれば後ほど修正することとした。

2. 部会報企画立案状況

北嶋委員から、No.4-5 に基づき冬版の編集状況が説明された。執筆者未定の項目(3. 4. 5. 6. 7. 8. 10. 16)につき、委員より案が出された。また、夏版(原則、PDF のメール添付)につき、アドレス未登録者に対して従前は印刷物を郵送していたが、HP に掲載された旨のはがきを送付する方法に変更したことが報告された。

3. 予算について

学会より、H21 年度見込み、H22 年度予算に加え H23-H27 長期計画案の作成を要請されている(資料 No.4-2-1)。磯部委員から、No.4-2-2 で H21 年度見込みと H22 年度申請案が、No.4-2-3 で長期計画案が示された。欠席委員にも配布し、1 週間程度で意見を集約することとした。また、長期計画の中でロードマップ実行委員会の収支については阿部委員(東京電力)のご意見を伺うこととした。学会の一般社団法人への移行に伴い、寄付金についても管理費や税金などが掛かることを考慮する必要がある。

4. 新法人制度移行への対応について

磯部委員より、No.4-9-1 および 4-9-2 を用いて説明会要旨が報告された。1 週間程度でまず第一弾の意見を集約し、学会事務局長宛に問い合わせることとした。

5. 平成 22 年「春の年会」企画セッション

平井委員から No.4-3-1 を用いて「先進的原子力システムにおける燃料材料」研究専門委員会報告;「先進的原子力システムにおける燃料材料の新しい研究アプローチ」、大平委員から No.4-3-2 を用いて、JCO 事故 10 周年に関連する「燃料加工事業者における安全性向上に対する取り組み」と題する企画セッション提案内容や進捗状況がそれぞれ報告された。

6. 平成 22 年度夏期セミナー企画状況

安部田副部会長から、No.4-4-1 および 4-4-2 に基づき、来年の夏期セミナーの企画立案状況が説明された。基調講演で元産業界の立場で大井様に(平井委員より)講演依頼を試みる。見学会として JAXA を検討したが片道 3.5 時間を要するため近場で再検討する。また運営委員会は初日(8/5)の昼食時に開催することなどが決まった。

7. PSWG「プルサーマルの安全性」資料について

野田委員から配布された資料 No.4-6 を確認した。現在微妙な時期につき、注意深く対応すべきことから、岩田部会長に案を作成して頂く事とした。

8. Nuclear Materials 2012 の協力について

平井委員から資料 No.4-7 を基に、背景・要旨などが説明された。核燃料部会からは、佐藤委員(東北大)と平井委員(NFD)に準備会へ参加頂くことが確認された。

9. 企画委員会の設立について

安部田副部会長から、国内企画、セミナー、国際活動を円滑に行うことを目的とした企画委員会の設立について提案された。併せて、資料 No.4-10-3 を用いて同委員会設置項を含む核燃料部会運営委員会内規(案)が示された。議論の結果、企画委員会の設置については承認された。内規(案)に対するコメントを 1 週間程度で安部田副部会長へ連絡するよう要請があった。また、内規に絡み、部会規約の見直しの必要性もありそうなので、企画委員会で次回運営委員会を目処に案を作成することとした。

10. 運営委員名簿

資料 No.4-10-1 をご覧頂き、修正点など庶務(磯部委員)にご連絡頂く。その場で、原田委員(中部電力)の所属変更(計画グループ⇒燃料グループ)の報告があった。

11. 業務分担

磯部委員から、No.4-10-2 で来年度以降の業務分担案が提示された。グループ 2 の三菱重工業殿は三菱原子燃料殿に変更する。三菱マテリアルが運営委員から抜けることに伴うジルコプロダクツ殿への影響部分(表下部の注意書きの被覆管メーカーは交代で委員を務める)については、来年度以降ジルコプロダクツ殿が委員に加わった際に議論することとした。それ以外については、次回運営委員会で確定させる。

12. その他

1) 日華教授会

近々岩田部会長から日華教授会資料が配布される。コメントがあれば連絡のこと。

2) 122 委員会

岩田部会長より、原子炉材料 122 委員会活動のご紹介があった。12/18 に基礎的課題で委員会を予定しており、核燃料部会からの出席要請があった。

3) 問題提起への対応について

学会員より岩田部会長宛に問題提起がなされ、少人数の研究会を設けて議論することにしたことが報告された。結果は、運営委員会に報告される。

4) 次回運営委員会・総会

次回第五回運営委員会は、春の学会期間中の総会開催日の午前中に開催する。出来れば燃料のセッションと重複しないようにする。また、総会開催日を 3/26(金)にするよう学会にリクエストすることとした。

以上